べてる

埼玉心理リハビリテイション研究会会報
第16号　　平成28年10月1日(土)発行

埼玉心理リハビリテイション研究会　ホームページ
「埼玉心理リハ」で検索すると見られます。
（新サーバー）　http://dousahousaitama.web.fc2.com/saitama-sinri-riha.htm

月例会の様子、ＢＢＳなどいろいろな情報があります。
全国の様子を知るページとのリンクもあります。

１５周年に向けて

会長　島村隆博

今年８月の第１５回埼玉ミニキャンプは、初代会長の篠原弥生先生を総合指導にお迎えし、「特別支援教育に生かせる動作法」をテーマに行われました。長野や群馬と県外からのトレーナーの参加もあり、そうした参加者の拡がりも、１５年続けてきた成果の一つでしょうか・・・。詳しいキャンプ報告は、ケースレポート等ご参考ください。

さて、１５周年・・・ということで、研究会の歩みを少々振り返ってみましょう。

H14:研究会発足（トレーナー学習会を毎月企画）
　第１回ミニキャンプ(県活にて、総合指導：緒方登士雄先生)
H15:月例会開始（トレーニーに協力依頼）
　第２回ミニキャンプ（川島ひばり特支にて、総合指導：緒方登士雄先生、
　　ＳＶ：谷浩一先生）
H16:第３回ミニキャンプ（宮代特支にて、テーマ「動作法⇔日常生活」
　　ＳＶ：清水良三先生、谷浩一先生、塚越克也先生）
　トレーナー研修会開始(「知的障害児への動作法とは･･･」、ＳＶ：塚越克也先生)
H17:第４回ミニキャンプ（「ステップ・アップ」、総合指導：緒方登士雄先生）
　第２回 Tr 研修会（「年少児への動作法―課題をどう伝えるか？」、ＳＶ：徳永豊先生）
H18:関東心理リハ埼玉大会開催（成瀬先生講演）
　第５回 ミニキャンプ（「共に生きる」、総合指導：成瀬悟策先生）
　第３回 Tr 研修会（「年長の肢体不自由者にどうかかわるか？」ＳＶ：飯嶋正博先生）
H19:機関誌「べてる」発行開始（以降年 2 回発行)、5 周年記念誌発行
　第６回ミニキャンプ（「動作法の基礎に立ち返る」、総合指導：星野公夫先生）
　第４回 Tr 研修会（「年少児に対する動作法―早期介入と保護者への説明―」
　　ＳＶ：香野毅先生）
H20:第７回ミニキャンプ（「課題に向き合う」、総合指導：大神英裕先生）
　＊学会認定ミニキャンプとなる。
　第５回 Tr 研修会（「集まれ、小学生！―特別支援教育に向けて―」
　　ＳＶ：星野公夫先生）

H21:第８回ミニキャンプ（「問題解決学習としての動作法」、総合指導：星野公夫先生）
第６回 Tr 研修会（「年少児への動作法～リラクセイション～」
ＳＶ：緒方登士雄先生）
H22:第９回ミニキャンプ（「現場に生かせる動作法」、総合指導：久田信行先生）
第７回 Tr 研修会（「集まれちびっ子ダウンちゃん！」、総合指導なし
ＳＶ資格者３名参加）
H23:第１０回ミニキャンプ（「動作法の基礎に立ち返る」、総合指導：星野公夫先生）
第８回 Tr 研修会（「肢体不自由（成人期）に対する動作法」、ＳＶ：星野公夫先生）
H24:10 周年記念誌発行
第１１回ミニキャンプ（「身体の動きを通した支援」、総合指導：島村隆博）
第９回トレーナー研修会（「知的障がい児者への動作法」、ＳＶ：清水良三先生）
H25:マニュアル本作成（１０周年記念）
「実践的な動作法を学びたい人へ　わかりやすい動作法マニュアル　一腕上げ一」
第１２回ミニキャンプ（「みんなにわかりやすく」、総合指導：飯嶋正博先生）
トレーナー研修会→1 泊 2 日の月例会に変更　ＳＶ：緒方登士雄先生
H26:関東甲信心理リハ埼玉大会開催
（草加かがやき特支にて、テーマ「伝えよう、動作法」）
第１３回ミニキャンプ（「ダウン症の動作法」、総合指導：田中新正先生）
集中月例会　ＳＶ：鶴光代先生
H27:第１４回ミニキャンプ（「個々のニーズに応える効果的な動作法」
総合指導：吉川吉美先生）
集中月例会　ＳＶ：清水良三先生

以上、この研究会発足のきっかけを作っていただいた（初回の総合指導）緒方登士雄先生からのお言葉「細く長く続けていきましょう。」を座右の銘に、何とかここまでやってきました。運営の心情は、次の３点でした。①まずは、埼玉県内の“トレーナー”の育成に重点をおこう。②県内の“うちわ”の会にならないよう、できるだけ県外（全国バリュー）の名のある指導者をお招きして新しい情報を取り入れよう。③毎回テーマを決めてお互いの技量を高め合おうということです。

さて、今回は、埼玉の心理リハビリテイションの発展に向けて、もう一つ加えたいと考えます。それは、“トレーニー（保護者）”の連携です。現在埼玉では、トレーニーのニーズに比べ、トレーナーの数が圧倒的に少なく、当研究会では、月例会の午後を二部制にするなど、苦心しております。また、他の動作法の会でも、一人のトレーナーが何か所も掛け持ちしなければいけない現状があります。そして、これは埼玉に限った事ではありません。そこで、２年前の長野大会から、「全国親の会連絡会」が結成されました。現在、「サイボウズ Live」というＳＮＳで、全国各地の親の会の情報交換がなされています。埼玉からも、当研究会、川越動作法の会、越谷ダウン症身体づくり教室、ワンステップの４名の代表保護者が「埼玉親の会準備委員」として横の連絡を図っています。

これからの埼玉の心理リハビリテイションに向けて・・・今までも何度も書いてきましたが、私が心理リハを続けてきた財産は、“人と人とのつながり”です。それぞれが、それぞれの目的を持って会には参加していますが、みんな、“動作法”という共通のアイテムがあり、その軸はぶれることなく、私はなぜか“温かさ”を感じます。そして、関わる人と人との間の温度差が少ない気がするのは私だけでしょうか。そんな全国（アジア各国）つながりの心理リハをこれからも大切にしていきたいと思う今日この頃です。

第15回　ミニ・キャンプ　報告

マネージャー：出井　一紀

テーマ　「特別支援教育に生かせる動作法」

１　日　　時　：　Ｈ２８．８／２７（土）～２９（月）
２　場　　所　：　埼玉県民活動総合センター
３　総合指導　：　篠原　弥生　先生（深谷はばたき特別支援学校）
４　参 加 者　：　＜トレーニー＞萌香さん、愛子さん、啓太くん、祥太くん
康平くん、兼伸くん、明里くん
＜　班　長　＞１班　島村隆博　　２班　出井一紀（マネージャー）
＜トレーナー＞今井友陛（長野）、白山智士（群馬）、関洋介、尾花恵
小澤さつき、野本史織、小島美稀
＜サブトレーナー＞佐藤知美、鈴村靖、高橋菜穂子、小沼早恵乃

５ 研修会の経過

例年、海の日を含む三連休で行っているミニ・キャンプですが、今年は会場や事務局の都合で日程を変更して開催しました。学校や仕事が始まっていたりしたために、参加者が少なくなってしまいましたが、少数精鋭で中身の濃いミニ・キャンプになったのではないかと思います。

公開講座では「発達障害がある子どもたちが楽しめる自立活動」という題目で篠原先生に講義いただきました。ミニ・キャンプへの参加トレーナー以外にも県内の特別支援学校から３０名を超える参加者がありました。篠原先生の指導実践をＶＴＲで視聴したり、バランスボールやタンバリン等を活用した実践例を体験したりしました。特別支援学校の指導実践に生かせる内容で、とても勉強になったという声を多く聞きました。

午後からは、トレーニーも参加して動作法を行い、３日間で計８回の動作法を行いました。３日間での取り組みを通して、座位が安定するようになったり、自分が苦手とする動き（背反らせで身体をあずける等）ができるようになったり、「身体が楽になった」という実感が持てたりと、各トレーニーにいろいろな変容が見られました。８回の動作法が終わった後には、皆さん達成感を感じているような、誇らしげな表情をしていたように感じました。

トレーニー保護者より

息子は、生後６ヶ月に点頭てんかん発作を起こして入院、治療しました。現在もてんかん薬を服用しています。

心理リハビリテイションとの出会いは、小学部１・３年時の担任の先生に相談したことがきっかけでした。動作法の話を聞いて、参加させてもらえませんかと伝えました。後日、「しばらく待機ですが、見学は大丈夫です」との返事をもらい、宮代特別支援学校の自立活動室のはじで見学したり、ミニキャンプに一度参加させていただいたりしました。月例会へのお誘いの連絡をもらった時は、第一土曜日が待ち遠しく思ったのを覚えています。今も同じです。

月例会に通い、今ではあぐら座がとれるようになりました。姿勢が崩れてしまうこともありますが、立ち直すことも上手になってきたと感じています。

これからも、できることが少しずつ増えていけたらと思っています。今後もよろしくお願いします。（北原稔浩母）

編集後記

今回も編集後記を担当させていただきます、越谷特別支援学校の西塚です。私事ですが、つい先日、ウクレレで「ドレミファソラシド～♪」を弾けるようになったんです！！ご近所の方にはご迷惑だったでしょうが、私は飛び上がるほど嬉しくて。また、学校で関わっているお子さんで、上手に立位をとれるようになったら「うん、これは、〇〇先生（女性教員）にも見せないとなあ♪」と言っていました（笑）でもそれほどに誇らしいことだったのでしょう！

そして、　さんにとって、あぐら座位がよりよくとれるようになったことは、きっと小さくても大きな成長だったのだろうと想像します。

三者に共通することは、みんな誰しも『学ぶ』ことって、すごく楽しいよね！と、いうことではないでしょうか。そして、みんなが学ぶことを目的として集まっている埼玉心リハがこれからも盛り上がっていくといいなあ！と感じています。そんな埼玉心リハがもうすぐ１５才！細く長く、さらに濃厚に！これからもよろしくお願いします。